

愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業 実施結果報告書



派遣期間：2023年3月23日（木）～3月29日（水）

愛知県政策企画局国際課

目次

1	派遣者名簿	1
2	事前説明会・知事表敬訪問	2
3	バンコク都派遣	
	全体行程	3
	<1日目(3月23日)>	4
	出国	
	歓迎夕食会	
	<2日目(3月24日)>	5
	バンコク都副知事表敬訪問(バンコク都庁)	
	タイ文化体験(ルンピニューユースセンター)	
	<3日目(3月25日)>	7
	廃材活用ワークショップ(Fab Café TCDC)	
	<4日目(3月26日)>	8
	植樹(ベンジャキティ公園)	
	タリンチャン水上マーケット	
	環境学習(コー・クラン・コミュニティ)	
	<5日目(3月27日)>	11
	高校訪問(ウィチュティットスクール)	
	<6日目(3月28日)>	14
	寺院訪問(ワット・プララームカオ カーンチャナピセーク)	
	企業見学(豊田合成アジア)	
	<7日目(3月29日)>	16
	帰国	
4	派遣高校生報告書	17
	(参考)	
	「愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業」参加者アンケート	117

1 派遣者名簿

高校生（13名）

	学校名	氏名	学年	性別
1	千種高等学校	<small>さいとう みやび</small> 齊藤 雅	1年	女
2	中村高等学校	<small>さいとう ゆう</small> 齋藤 優	2年	女
3	瀬戸西高等学校	<small>まつぼら ちなつ</small> 松原 千夏	2年	女
4	尾北高等学校	<small>ほんま</small> 本間 もも	1年	女
5	一宮西高等学校	<small>やなとり たいが</small> 梁取 大河	1年	男
6	津島高等学校	<small>ふくどめ</small> 福留 そら	2年	女
7	常滑高等学校	<small>こいけ りお</small> 小池 璃緒	2年	女
8	豊田北高等学校	<small>ふかや ゆうと</small> 深谷 勇斗	2年	男
9	西尾高等学校	<small>おおほ りょうや</small> 大葉 凌也	2年	男
10	刈谷北高等学校	<small>さいとう ゆうた</small> 齊藤 優太	2年	男
11	安城東高等学校	<small>たぐち けいた</small> 田口 慶太	2年	男
12	豊橋東高等学校	<small>こんだ せいな</small> 近田 惺南	1年	女
13	御津高等学校	<small>かわきた</small> 川北 ダシルバ ルキアン ライ	2年	男

引率者（3名）

	所属	役職	氏名	性別
14	愛知県国際課	主任	小塚 星一郎	男
15	津島高等学校	教諭	大谷 暁子	女
16	自治体国際化協会 シンガポール事務所	所長補佐	藤井 達也	男

2 事前説明会・愛知県知事表敬訪問

<事前説明会>

日時：2023年2月27日（月）14時～16時10分

場所：愛知県庁政策企画局特別会議室

内容：自己紹介、渡航概要説明、グループワーク、タイ語勉強会など



<愛知県知事表敬訪問>

日時：2023年2月27日（月）16時40分～17時

場所：愛知県公館

内容：自己紹介・抱負、知事挨拶、記念撮影



各高校生は、自己紹介の後、それぞれ渡航の抱負を発表しました。
知事からは、「タイの人たちと積極的に交流し、他ではできない経験をするとともに、
両国の交流の担い手になってもらいたい。」と激励の言葉がありました。

3 バンコク都派遣

全体行程：2023年3月23日（木）～3月29日（水）

行 程		宿泊
3/23 (木)	09:00 集合（中部国際空港） 11:00 中部国際空港発 15:40 スワンナプーム国際空港着 17:30 ホテルチェックイン 18:00 夕食	ホテル
3/24 (金)	11:00 バンコク都知事表敬訪問（バンコク都庁） 12:00 昼食 14:00 タイ文化体験（ルンピニーユースセンター） 18:00 夕食	ホテル
3/25 (土)	09:00 廃材活用ワークショップ（Fab Café TCDC） 18:00 夕食	ホテル
3/26 (日)	08:00 植樹（ベンジャキティ公園） 10:00 タリンチャン水上マーケット 12:00 昼食 14:00 環境学習（コー・クラン・コミュニティ） 18:00 夕食（アジアティーク・ザ・リバーフロント）	ホテル
3/27 (月)	09:00 高校訪問（ウィチュティットスクール） （歓迎会、学校紹介、文化交流、スポーツ交流） 18:00 夕食	ホテル
3/28 (火)	09:00 ホテルチェックアウト 10:00 寺院訪問 12:30 企業見学（豊田合成アジア） 18:00 夕食 20:00 スワンナプーム国際空港へ移動	機中泊
3/29 (水)	00:05 スワンナプーム国際空港発 08:00 中部国際空港着 解散（中部国際空港）	—

1日目：3月23日（木）

＜中部国際空港からスワンナプーム国際空港へ＞



バンコク都の職員の方がタイの空港で出迎えてくれました。

今回の派遣が初めての海外という高校生もいましたが、大きなトラブルなく順調なスタートを切ることができました。

＜歓迎夕食会＞

時間：18時～20時

場所：バンコクセンチュリーホテル

内容：バンコク都国際部長挨拶、訪問団・バンコク都職員の自己紹介



滞在するホテルでは、バンコク都の方による歓迎夕食会が開催されました。

バンコク都の国際部長から「タイの文化に積極的に触れ、多くを学んでいってほしい」と歓迎の言葉をいただきました。

高校生の自己紹介の場面では、英語だけでなく新しく覚えたタイ語を使って自分の名前を紹介する生徒もいました。



2日目：3月24日（金）

＜バンコク都副知事表敬訪問＞

時間：11時～11時30分

場所：バンコク都庁舎

内容：副知事挨拶、訪問団代表挨拶、自己紹介、質疑応答、記念品交換



バンコク都庁 Facebook より引用



バンコク都庁 Facebook より引用



バンコク都庁 Facebook より引用

バンコク都庁にてバンコク都のサノン副知事を表敬訪問しました。副知事からはバンコク都の環境問題への取組や愛知県との繋がりなどについてお話をいただきました。

生徒を代表して川北さんが英語で挨拶をしました。生徒からバンコク都のSDGs達成に向けた取組や、タイの国民性を最も感じられる場所など次々に質問が飛び出し、副知事はそのひとつひとつに対して丁寧に回答をしてくださいました。



表敬訪問後も気さくに撮影に応じてもらいました



<タイ文化体験>

時間：14時～17時

場所：ルンピニーユースセンター

内容：タイダンス体験、タイ楽器体験、クラフト作り



ユースセンターで、タイの伝統的なダンス、音楽、工作の体験をしました。英語を話さない講師の方もいる中、ジェスチャーも交えながら一生懸命タイの文化を学びました。

タイダンスの繊細な指先の動きや、タイの楽器の演奏方法などに触れ、新鮮な体験となりました。限られた時間で多くの体験をしたので、「もっとやりたかった」という声もありました。



3日目：3月25日（土）

<廃材活用ワークショップ>

時間：9時～16時

場所：Fab Café TCDC

内容：廃材の再利用に関するワークショップ



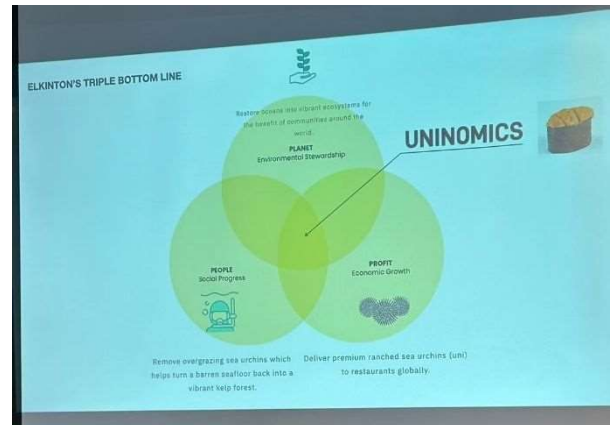
材料にするキャップ選び



電子工作の体験中

クリエイティブな技術やアイデアで環境問題や地域の課題の解決を提案する実例について学びました。

ペットボトルのキャップを再利用したオリジナルの瓶のキャップ作りを通じて、環境問題に対する様々なアプローチについて考えるきっかけとなりました。



Fab Café：MITのガーシェンフェルド教授が提唱した考えを基にした世界各地に拠点を持つクリエイティブコミュニティ

4日目：3月26日（日）

<植樹>

時間：8時～9時30分

場所：ベンジャキティ公園

内容：訪問記念の苗木の植樹

バンコク都心部に位置するベンジャキティ公園で苗木の植樹をしました。2022年6月に新しく就任したバンコク都知事は、都市環境を改善し、都民の意識を啓発するため、100万本を超える植樹活動を進めています。



ベンジャキティ公園では、森林公園が生物保護に果たす役割や公園内の大きな調整池の機能について説明を受けました。生徒たちは汗だくになりながら苗木を植え、帰り際には植えた木が育った姿を見るために数年後にバンコクにもう一度来ようなどと話していました。

<タリンチャン水上マーケット>

時間：10時～11時



植樹活動のあとは水上マーケットを楽しみました。ローカルな雰囲気の中、値引き交渉を頑張る姿も見られました。



市場ではごみの分別を進めています（代表談）→

<環境学習>

時間：14時～16時

場所：コー・クラン・コミュニティ

内容：コミュニティの見学、プラスチック再成形の体験など



運河の中の島にあるコー・クラン・コミュニティでは、島から出る廃棄物を極限まで減らすとともに、リサイクル製品から収益をあげる仕組み作り已成功しています。

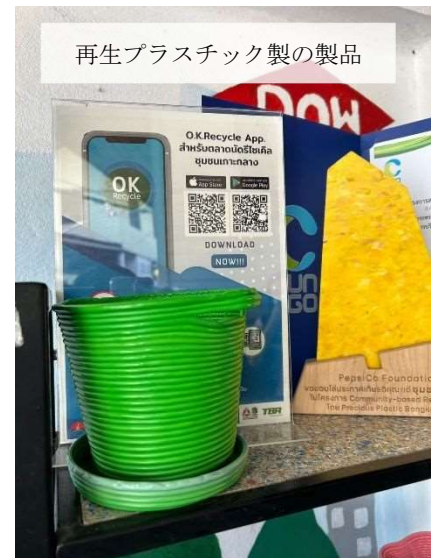
コミュニティの取組を教えてもらい、島の中を見学したあとは、再生プラスチックでコップを作る体験をしました。



生ごみを燃料にする装置



生ごみで作った堆肥を使って育てた植物で作った製品



再生プラスチック製の製品

アンケートでは、ビジネスとして収益をあげる仕組みや、アプリで各家庭の資源の収集量を集計し収益を分配する仕組みに関心を持ったという意見がありました。

また、コミュニティの中ではバンコクの方々の暮らしを間近で見ることができました。



再生プラスチックのコップ作り

<アジアティーク・ザ・リバー・フロント>

時間：18時～20時



夕食はアジアティーク・ザ・リバーフロントへ。
チャオプラヤ川のクルーズも、広大なナイトマーケット、アジアティークも大いに楽しみました。



5日目：3月27日（月）

<高校訪問>

時間：9時～16時

場所：ウィチュティットスクール

内容：歓迎式、タイの文化体験、日本の伝統的な遊びの紹介、スポーツ交流など

【歓迎式】



ユースセンターでも練習したタイダンス

学校に着くと生徒と先生の皆さんが外に並んで出迎えてくれました。同時に歓迎の音楽とダンスも始まり、高校生たちは驚きながらも感激して学校の中へ向かいました。

歓迎式典では生徒の代表2名が挨拶をしました。練習してきたタイ語の挨拶にウィチュティット校の皆さんから盛大な拍手が沸き起こりました。



【おかし作り】



学校の中庭でタイの伝統的なおかしであるカノムクロック作りを体験しました。飲み物は校内のカフェで自分たちで用意しました。カフェではウィチュティット校の生徒が学校公認のアルバイトをしています。

【タイの文化体験（民族衣装・ロイクラトン）】



タイの民族衣装に着替えて、ウィチュティット校の生徒たちと昼食を食べたあとは、ロイクラトン祭りで使われるクラトン（灯籠）作りを体験しました。



訪問団の生徒1人1人に対して、ウィチュティット校の生徒1人がバディ（相棒）として一緒に活動をしてくれました。民族衣装の着付けを手伝ってもらったり、クラトンの作り方を教えてもらったりしながら、交流を深めました。



【タイの文化体験（ムエタイ）】



ムエタイ選手として活躍している生徒によるデモンストレーションを見たあと、実際にムエタイを体験させてもらいました。

【日本の伝統的な遊びの紹介（福笑い・メンコ・けん玉）】



3つのグループに別れて、福笑いとメンコとけん玉を紹介しました。翻訳アプリを使いながらルールを説明したり、練習してきたけん玉の技を披露したりして、遊び方を伝えました。

しっかりと準備をしてきたおかげで、ウィチュエティット校の生徒達にもとても楽しんでもらえました。

【スポーツ交流（チェアボール）】



先生達がチアガールになって応援！



チェアボールというバスケットボールに似たスポーツをやりました。30℃をゆうに超える熱気の中、両地域の生徒たちが必死になって同じボールを追いかけてました。

【お別れ】



送別式では、生徒を代表してリーダーの田口さんが感謝の言葉を述べました。ウィチュティット校の校長先生からも「ウィチュティット校の生徒にとっても異文化に触れるよい機会になった」と感謝の言葉をいただきました。

訪問団の生徒たちは、バディの生徒に日本からのお土産を渡したり、SNSのアカウントを交換したりしながら、いつまでも別れを惜しんでいました。



6日目：3月28日（火）

＜寺院訪問＞

時間：10時～10時30分

場所：ワット・プララームカオ カーンチャナピセーク

内容：寺院の見学、参拝



ラーマ9世により建立された寺院に参拝に行きました。有名な観光地ではない地元の方の生活に根付いた寺院でしたが、日本の寺院との違いなどを興味深く見学しました。

<企業訪問>

時間：12時30分～16時

場所：豊田合成アジア・豊田合成タイランド（チョンブリ県）

内容：会社概要説明、現地社員の方との懇談会、工場見学、質疑応答など

豊田合成では会社の概要について紹介いただいたのち、工場のオートメーション化の取組について説明を受けました。また、TG Spirit と呼ばれる国や文化、宗教等を超えて共有される社内の価値観とその普及方法について説明を受けました。

現地のタイ人の社員の方と懇談する場を作っていただき、生徒からは豊田合成で働いてよかったことや、日本とタイの労働文化の違いなどについて質問をしました。中には、将来豊田合成で働くにはどうしたらよいか相談をする生徒もいました。

工場見学ではオートメーション化の実例について、実際に製品を作っているところを見ながら見学をしました。



訪問団の生徒たちは、工場のオートメーション化が日本人社員ではなく現地社員の方々によって進められていることに驚いていました。タイの文化をリスペクトしながら、社内共通の価値観 TG Spirit を浸透させていく方法に関心を示している生徒もいました。人づくりの大切さなど、多くの学びのある見学となりました。

世界各地に展開するグローバル企業の海外での活躍の一端を見学したことで、将来自分たちが海外で働くことについて、具体的なイメージを持つことができたのではないのでしょうか。

7日目：3月29日（水）

＜スワンナプーム国際空港から中部国際空港へ＞



滞在中ずっと同行していただいた
バンコク都庁の方からお別れの言葉



大きなトラブルもなく、全員元気に帰国することができました。

アンケートでは、「どの訪問先でも温かく受け入れてくれたためとても充実した体験がたくさんできたと思う。」「タイの文化理解や環境への意識改革などがなされ、本当に貴重な体験となった。」「自分はタイにはあまり興味がなかったが、今回の事業でタイについてもっと知りたくなった。」「私は自分から行動するのが得意な方ではないけれど他の仲間たちの積極的な姿を見て私も頑張ることができた。派遣に参加できて本当によかった。」「派遣のメンバーとも現地の方々とも仲良くなることができ、嬉しかった。」「タイでの体験を私自身の未来にも役立てていきたいと思う。」といった感想が寄せられました。

参加いただいた皆さんが、今回のバンコク訪問をきっかけに、広い世界への好奇心と大きな夢を持ち、愛知県と世界を繋ぐ架け橋となる人物になることを期待しています。

4 派遣高校生報告書

	学校名	氏名	ページ
1	千種高等学校	<small>さいとう</small> 齊藤 <small>みやび</small> 雅	18
2	中村高等学校	<small>さいとう</small> 齋藤 <small>ゆう</small> 優	22
3	瀬戸西高等学校	<small>まつばら</small> 松原 <small>ちなつ</small> 千夏	28
4	尾北高等学校	<small>ほんま</small> 本間 <small>もも</small> もも	36
5	一宮西高等学校	<small>やなとり</small> 梁取 <small>たいが</small> 大河	40
6	津島高等学校	<small>ふくどめ</small> 福留 <small>そら</small> そら	56
7	常滑高等学校	<small>こいけ</small> 小池 <small>りお</small> 璃緒	63
8	豊田北高等学校	<small>ふかや</small> 深谷 <small>ゆうと</small> 勇斗	70
9	西尾高等学校	<small>おおば</small> 大葉 <small>りょうや</small> 凌也	84
10	刈谷北高等学校	<small>さいとう</small> 齊藤 <small>ゆうた</small> 優太	87
11	安城東高等学校	<small>たぐち</small> 田口 <small>けいた</small> 慶太	102
12	豊橋東高等学校	<small>こんだ</small> 近田 <small>せいな</small> 惺南	108
13	御津高等学校	<small>かわきた</small> 川北 <small>ダシルバ</small> ルキアン <small>ライ</small> ライ	115